

月刊誌「株主手帳」2月号(平成20年1月17日発売)

北浜流一郎のトップインタビューにて
掲載されております。記事の内容は以下の通りです。

アムスライフサイエンス (JASDAQ ・ 2927)
グループ最高経営責任者 浅山 忠彦会長に聞く



漢方薬、化粧品に注力 1,000 億円企業目指す。

健康情報発信基地 夢の実現へ

健康食品の相手先ブランドによる受託製造・販売から、自社ブランド商品の通信販売および積極的な M&A など、漢方薬を中心とした製薬事業を展開しているアムスライフサイエンス。むろん、業績は、順調で、今期は最高収益を更新する見通しだが、今後さらに大きく飛躍する要因を含んでいるという。北浜流一郎氏が浅山忠彦会長にお話をお伺いした。

北浜 御社は健康食品メーカーであると同時に製薬メーカーですか？

浅山 2007年6月に買収した本草製薬で漢方薬を製造・販売しています。効果・効能については、健康食品では薬事法の規制がかかりうたえません。しかし、漢方薬では、うたうことができます。漢方薬メーカーは、このメリットに気が付かず、既得権益に守られ、安穩と販売を続けており、業績が低迷しています。当社は、効能・効果がうたえるメリットを最大限に生かし、販売につなげることで、会社を再建できる自信がありましたので、進出しました。

北浜 期待が膨らみますね。

浅山 近い将来本草製薬を中心に各社の販売部門をひとつにまとめあげ、製造はアムスライフサイエンスが行うとか、合理化を徹底的にやろうということで、いま構造改革を断行中です。これが終われば高利益体質の企業に生まれ変わります。

北浜 ところで、創業の経緯について教えてください？

浅山 30歳の頃、深海鮫の肝臓からとったエキスで作った肝油がブームになったんです。これが当たりすぎて、全国販売ルートを3年ぐらしかけて作り上げました。ところが、製造会社が嫉妬をして私を追い出そうとしたので、自分で作り始めました。最初は順調だったのですが、安い商品売り出したのが失敗でした。儲からない。潰れそうな時が2回ありました。そんな時、健康食品のブームもあり、また、周囲の人達の助けもあり、何とかやってこれました。その意味で、健康食品には本当に感謝しております。

北浜 広告等を拝見して品揃えなどソフト力はかなりあると思いますね。

浅山 そこが一番の当社の要だと思しますので、さらに、健康情報の発信基地を作ろうと計画しています。健康情報番組や化粧品の紹介など、読むのが大変なお年寄りの方々に対して、家庭の医学書みたいな番組を自前でやりたいのです。

ただ、啓蒙だけではやっていけませんのでテレビショッピングとか稼ぐ道も考えながら啓蒙発信基地をやっていきたい。現在は、販売に繋がるような無料の健康情報誌を3,000件以上の医療機関に置かせて頂いており、患者様にお読み頂いております。

北浜 今後、業績もかなり上がってきそうですね。

浅山 治療医学の西洋薬に対してサプリメントを中心とした予防医学分野が急成長しているわけです。一方、漢方薬は西洋薬マーケットが 8 兆円あるのに対して、1,000 億円とまだまだ小さく、伸びる余地が大きく業績拡大に寄与してくるでしょう。この流れに乗り、売上・利益ともに大幅な上昇を見込んでおります。

北浜 今期予想1株当たり利益は 464.5 円、PER は約 14 倍であり、数字的には株価はもっと上がってもいいですね。

浅山 みなさん当社を良く知らない。これまで OEM(相手先ブランドによる受託製造)で自ら宣伝する会社ではありませんでしたから無名の会社なのです。二、三年前はコエンザイム Q10 がブームで業績も良かったのですが、その後ライブドアショックも重なり、株価もがたがたになってしまった。その後回復、今期は最高収益を更新する見通しですが、今期の売上高 100 億円なんて通過点で 1000 億円企業を目指して構想を練っています。

漢方薬の「本草製薬」、スーパーを中心に販売しているコラーゲンのパイオニアの「華舞」、デパートに出店している自然食品の「正直村」を新たに加え、事業基盤が整いました。この基盤を大きく成長させたいと思います。これからの成長は大きいはずです。

北浜 M&A はこれからもおやりになりますか？

浅山 各漢方メーカーを統合できたらと思いますね。処方を増やし、合理化を図ることによって、利益のでる会社に生まれ変われると思います。本草製薬でも、手ごたえを感じています。そのために、まず 5ヶ所に分散され、効率が悪い工場などを一箇所に集約し、そこに最新鋭工場を建築したいと考えております。

また、化粧品の通販にも力を入れていきます。大手化粧品会社出身の研究開発者がおり、当社の化粧品は大手と中身は、何も変わりませんし、むしろ内の方が良いくらいです。これをテレビショッピングで売っていきたいと考えております。

北浜 テレビショッピングですか？

浅山 やはり、自前で作った番組で、自社製品を販売したいと考えております。「利は元であり」24時間放送しているテレビショッピング番組のように、ゆくゆくは、電波も自前のものにし、こちらにも進出したいですね。

北浜 一部昇格とかは？

浅山 確かにそういう話はいろいろな証券会社から頂いておりますが、まずは会社をよく知ってもらうことが先決です。

ひとつずつ成長路線に乗せていけば先行きそういう会社になれるでしょう。化粧品だけでも相当化けられると思いますし、漢方薬も大きな成長力を持っています。自分でいうのもなんですが当社は途方もない夢がある会社だといえます。

北浜 やはり、株は上がらないといけませんね。

浅山 株を買って貰って喜んで貰うのこそ上場企業の経営だと思うのです。今に見てるよという気持ちで一杯です。少なくとも今から買い始めれば喜んで貰える可能性を持っていると言えるでしょう。